

令和4年8月8日

長泉町議会議長

様

会 派 名 政和会

会派代表者名 植松 英樹



会派調査研究・研修報告書

このことについて、下記のとおり会派調査研究・研修を実施したので、報告いたします。

記

調査研究・ 研修者氏名	植松 英樹、 下山 和則、 大沼 正明
調査研究・ 研修月日	令和4年8月3日(水)～令和4年8月4日(木)
調査研究・研修地 及び事項	(1)目的地(茨城県土浦市) 日 時 令和4年8月3日(水)午後1時30分～午後3時00分 内 容 りんりんポート土浦について
	(2)目的地(茨城県下妻市) 日 時 令和4年8月4日(木)午前10時00分～午前11時00分 内 容 道の駅しもつまについて
	(3)目的地() 日 時 令和 年 月 日()午後 時～ 時 内 容 について
調査研究・研修地 内容等	別紙のとおり (1) 内容 (2) 現状 (3) 町行政との相違・留意点と、研修成果による提言 (4) 添付資料



令和4年度政務活動研修報告書

政和会 植松英樹
下山和則
大沼正明

日時・場所 令和4年8月3日(水) 13時30分～15時
茨城県土浦市「りんりんポート土浦」
〃 8月4日(木) 10時～11時
茨城県下妻市「道の駅しもつま」

りんりんポート土浦

1 概要

土浦市は、東は霞ヶ浦に面し、西は筑波山を望む水と緑に恵まれた歴史と伝統のある県南を代表する商業都市として栄えてきた。

人口は現在14万1千720人で、予算は527億円の市である。

2 りんりんポート土浦の概要説明(石引都市整備課まちづくり室長ほか2名)

当施設は観光客や近隣住民等の憩いの場としての機能を有し、サイクリストの交流の拠点として位置づけられている。

りんりんポート土浦は、先行整備した霞ヶ浦りんりんロードの総延長180kmの通過する敷地内の利点を活かした、サイクリスト向けの機能を中心に整備した。

また、土浦港周辺広域交流拠点基本計画により、平成22年度から用地取得を開始し、30年には工事の着工、31年3月30日完成した。

施設の運営は市が100%出資し、1名で管理しており、年平均約1万3千人が利用している。

敷地面積は約1万1千500㎡で広場、駐車場、休憩施設建築面積は約446㎡で、事務所、トイレシャワー室などが設置されている。

3 質疑

* 利用者の声や反応は

多くの住民が憩いの場と利用している。特にトイレは早朝より利用が可能なのでサイクリストには好評である。

* 今後の活用方向性は

コロナウイルス感染症対策もあるが、サイクリング関係の活用と、本地の南側にある土地への企業誘致によりりんりんポート土浦の更なる価値を高めたい。

* トライアスロン大会の後は

人を呼べる大会なので第3回の開催を予定したい。

4 成果と提言

市の地形の優位性を活かし、地域の活性化と観光を融和させたサイクリングロードを整備し、かつ、市民の憩いの場として多いに利用している事は、事業としては成功例であると感じ取れる。

こういった事案は、当町の地形を俯瞰して見ると、1例ではあるが、桃沢地域は、自然の家を中心に、グラウンド、キャンプ場、パークゴルフ場などが存在し、娯楽的なスポーツ施設の1つの塊りであると考えるので、その周辺に存在する、町有の山林を活用し、クロスカントリー、マウンテンバイク、遊歩道、アスレチック、ビオトープなどに整備する検討をするべきであると考えるので、今後は、更に研修を重ね、会派要望、一般質問などを実施していきたい。

道の駅 しもつま

1 目的

当町には道の駅がなく、今後、設置要望に向けた準備のため、当該施設を視察研修した。

2 「道の駅しもつま」駅長の荒川氏より概要説明

国道294号沿いに位置し、農業及び観光の振興を図るとともに道路利用者が地域交流を深めるための、憩いの場の提供を目的に平成11年に設置し、農産物の販売物産販売、ベーカリーなど多様で質の高いサービスが提供できる施設を目的としている。

とくに、納豆工場がその施設内にあり、製造の見学ができるようになっている。第3セクターで営業しており利用者は1日約1千人と、当日平日にも関わらず混雑していた。

3 成果と提言

今回の視察研修を通し、道の駅は、新たな産業を生み出す1つのツールと見るべきであり、町の活性化、地産地消、雇用の創出、税金など、あらゆる利点を感じ取れ確信できた。

今後は、会派一同で、更に研鑽に励み、引き続き、先進地を視察研修し、実現の方向に向けて、頑張っていきたい。